

評議会だより

第四五一回評議会

平成四年二月八日(火)

(教員選考報告)

総合科学部

講師 岩村 聰(人間行動研究)

医学部

講師 焼廣益秀(生理学第二)

以上の報告があった。

(報告)

一 国立大学協会総会について

一月一日、一二日に学士会館

で開催された標記会議等の概要につ

いて、報告があった。

二 広島大学大学院の整備充実につ

いて(基本方針)

大学院委員会で決定された基本方針について、報告があった。

三 附属図書館長候補者選考日程について、報告があった。

(議事)

一 広島大学長選考規程実施細則の改正について

原案のとおり承認した。

二 学長予定者選挙の日程(案)について

平成五年一月一九日選挙公示、二月一日学長予定者選挙等の日程で実施することとした。

三 平成六年度新規概算要求の日程について

原案を一部修正のうえ、承認した。

モニターから・編集者から(24期3号)

今回モニターをお願いした20名ずつの教職員、学生のうち、教職員16名、学生10名の方から回答を頂いた。そこで、「今後に期待する記事、内容等」「気付いた点」についてのいくつかの意見を紹介することにした。いずれも示唆に富む貴重なご提言である。

◆教職員から 広島大学公開講座の紹

介を責任者に書いてもらったらどうか。学内でも知らない人が多いので(宣伝不足による)。特集については、「バイオテクノロジ」「エイズ」「政治問題」「学外の人からみた広島大学」などよいのではないかと学生の意見が反映され、今の学生たちが何を考えているのか理解できるようにコーナーがほしい。目的(学外向けか、学内向けか)を鮮

明にして経費など考えるべきだ/顔写真入りで「研究室学者自慢(他讃?)」というようなものを。老いも若きもどんどん紹介して、広島大学はこんなすぐれた研究者と研究があるのだということアピールする企画があつてよらしい。自己点検の向こうをはつて、自己過剰評価公開というところ。記事にカタサとヤワラカサを調和させつつ、レベルを落とさないうで書くということは大変難しいが、編者の方々はそれをよく努力なさつていと思う/広島大学のレベルはどの程度か、学問的業績、科研費状況、どの分野が強いのか、学位授与状況(特に文系)等を自己点検(あるいは自己宣伝)する記事もあると面白い。多少刺激的な意見を載せるのも、大学がよくなるために必要ではないか。カラー写真も多く、読みやすくなつた。やむを得ないが、やや真面目すぎるのではないかと/理髪部店主の記事が載つていた。人には見えない苦労があり、感動した。普段スポーツの当たらないうところで一生懸命働いておられる方々の体験記を続けてほしい。今回モニター依頼され、あらためてすべての記事に目を通したところ、内容の充実さに対し、編集のご努力に敬意を表します/

◆学生から 今回の特集にあるような

学内で行われている研究を(できれば分りやすい)数多く紹介して頂きたい。フォーラム欄の記事が、読みやすく、分りやすく面白かつた/フォーラム欄の鎮守さんの記事に感動した。広大の歴史を陰で見つめていらつしやる、こういう方々のご意見をもっとお聞きしたい。また、全体的に話題が機能的すぎて、少しつめたい感じがした。文芸欄とか、軽いエッセイ、コラムのリレー連載というのはどうか。「広大フォーラム」は実際に読みごたえのある広報誌だと思った。学生のモニターを少しずつ増やしていくと、学生の読者も増えていくと思う/何を対象に書かれているのかが、全体を通してみてもよく分からない。今回読んで、一番読みやすく関心が持てたのは、二人の留学生の意見の記事。学生の立場からもう少しとつかかりやすい記事が多ければと思う/

「広大フォーラム」の対象、目的が不鮮明であるとのご意見を多く頂いた。本誌は、六千部印刷し、ほとんどは学内に配布、約五百部が学外の大学、高校等、及び名譽教授の先生方などに送付している。編集者は、本誌が膨大で複雑な組織体の意思疎通のための手段、よりどころ(フォーラム)になることを切に願っている。